

国有林の管理経営に関する意見募集について

(瀬戸内森林計画区)

近畿中国森林管理局では、石川県から山口県までの14府県に所在する国有林を40の区域(森林計画区)に分け、それぞれの森林計画区において「地域管理経営計画」及び「国有林野施業実施計画」を策定しています。

これらの計画には5年間の国有林に関する管理経営の考え方、森林整備や伐採等の事業量・箇所等が記載されています。

広島県沿岸部の福山市から江田島市に至る瀬戸内森林計画区では、令和8年度に次期の計画を策定する予定であり、これに先立ち、地域の皆様から広くご意見を募集します。

1 意見募集の内容

瀬戸内森林計画区に関する資料をご覧いただき、令和9年度から13年度までの管理経営について自由にご意見をお寄せください。

2 意見募集期間

令和7年11月10日(月曜日)～令和7年12月10日(水曜日)

3 意見の提出先

(1) 郵送

〒730-0822

広島県広島市中区吉島東 3-2-51 広島森林管理署 業務グループあて

(2) 電子メール

広島森林管理署メールアドレス:kc_hiroshima@maff.go.jp

※意見を電子ファイルで添付される場合は、PDF 又は Word をお願いします。

お問合せ先

広島森林管理署 業務グループ

電話:050-3160-6145 / 082-247-2201

瀬戸内森林計画区の対象区域





国民の森林・国有林

瀬戸内森林計画区における 現行計画及び次期計画について



林野庁 近畿中国森林管理局
広島森林管理署

浄土寺山国有林（左奥）と尾道市街

現行計画の概要

地域管理経営計画の構成

- I 管理経営に関する基本的な事項（基本方針、主要事業量 等）
- II 国有林野の維持及び保存（巡視、病虫害の防除、森林の保護 等）
- III 林産物の供給（木材の安定的な供給 等）
- IV 国有林野の活用（活用の推進方針やその具体的な手法 等）
- V 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全等に関する事項
- VI 国民の参加による森林整備（森林環境教育の推進 等）
- VII その他（林業技術の開発及び普及、地域振興 等）

瀬戸内森林計画区の概況

【瀬戸内森林計画区位置図】



○瀬戸内森林計画区は、広島県東部の芦田川上流に位置し、中央丘陵地帯及び西部に大小の団地が散在。

○森林の総面積179千haのうち国有林野は15千ha（8%）。

○都市近郊に所在する国有林野は、ハイキングなど森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として重要な役割。

（該当市）

呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、東広島市

森林資源の状況

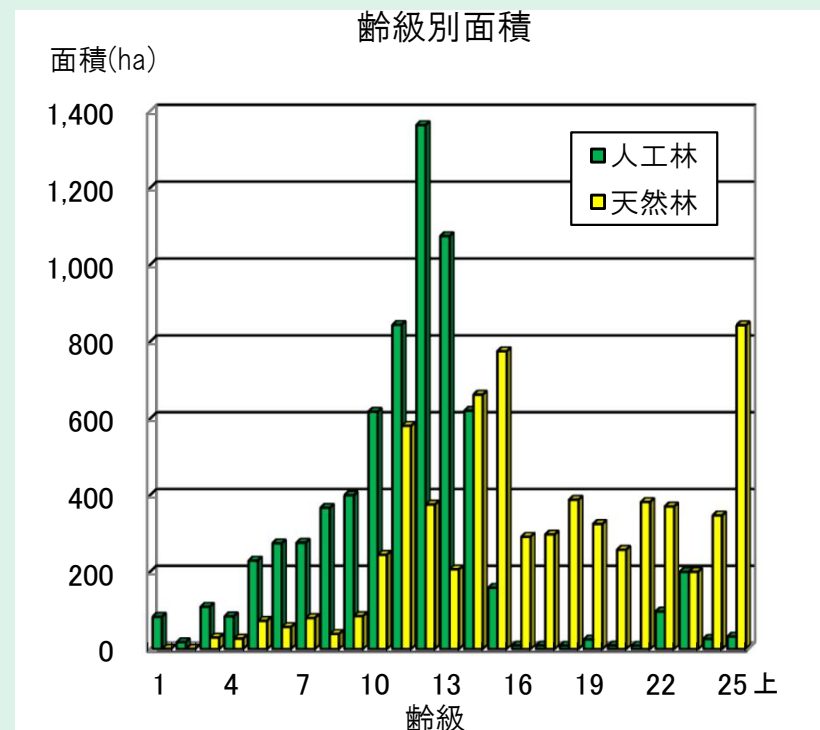
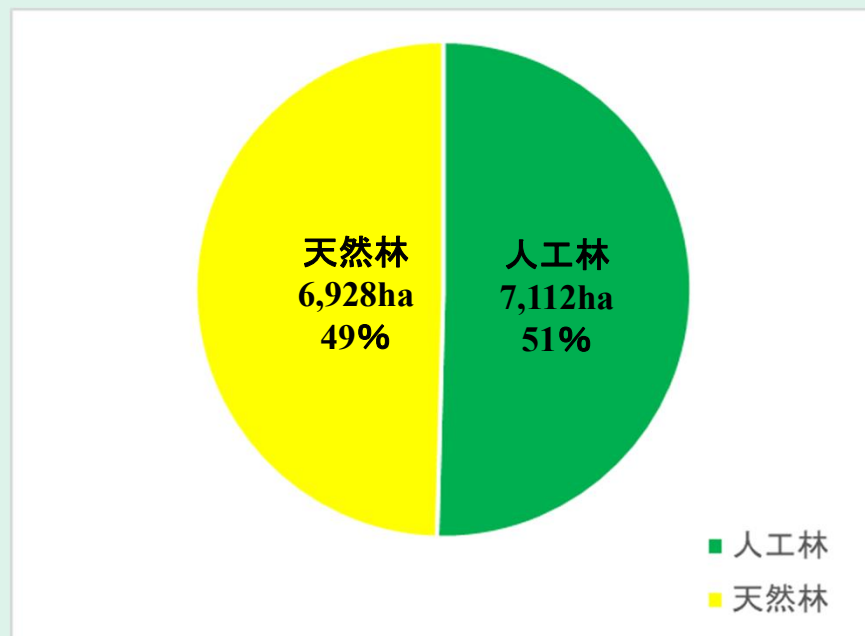
○面積割合は人工林が51%、天然林が49%

○人工林の蓄積割合は、ヒノキ64%、スギが12%

○人工林の齢級は10齢級から14齢級が中心

※齢級とは、森林の年齢(林齢)を5年でひとくくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

【人工林・天然林の面積割合】

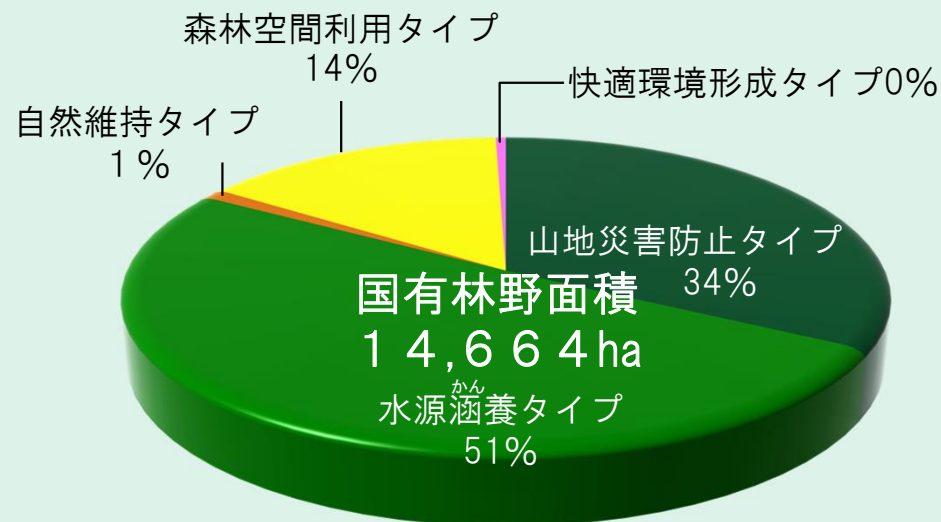


機能類型に応じた管理経営

○重点的に発揮すべき機能によって、森林を5つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を行っています。

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止 タイプ	4,941	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持 タイプ	103	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用 タイプ	2,022	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成 タイプ	63	騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
水源涵養 タイプ	7,536	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林

【機能類型別割合】



注：四捨五入により、内訳と合計が一致しない。

主要事業

(計画量：R4～R8年度)

・伐採量

	現行計画量	
	面積(ha)	材積(m ³)
主伐	179	62,283
間伐	2,038	223,281

・更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
224	-

・保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
793	81	-

(実績：R4～R7年度)

	事業実績	
	面積(ha)	材積(m ³)
主伐	11	4,920
間伐	523	76,216

事業実績 (ha)	
人工造林	天然更新
29	-

事業実績 (ha)		
下刈	除伐	枝打
99	43	-

主要事業

（現行計画量：R4～R8年度）

（事業実績：R4～R7年度）

・林道

現行計画量		
	開設（m）	改良（箇所）
数量	2,546	6

事業実績		
	開設（m）	改良（箇所）
数量	0	2

・治山

現行計画量	
保全施設（箇所）	12
保安林整備（ha）	52

事業実績	
保全施設（箇所）	11
保安林整備（ha）	6

計画に基づく取組①

公益的機能の維持増進

国土の保全

○保安林及び治山施設の整備

山地災害防止機能や水源涵養機能等を高度に発揮させるため、保安林を配備するとともに、保安林の機能を高めるための治山事業を実施しています。

土砂流出防備保安林



猪山国有林（呉市）

保安林の指定状況（R2年度末）

保安林の種類	面積(ha)
水源かん養保安林	8,682
土砂流出防備保安林	5,111
干害防備保安林	140
落石防止保安林	57
保健保安林	1,013
風致保安林	3

※ 保安林種が重複する箇所がある

国土の保全

○国有林治山事業

治山ダム等の設置や保安林の適切な管理を通じて山地に起因する災害から国民の生命、財産を守ります。また、水源涵養機能や、生活環境の維持向上を図ります。

山腹工



施工前



施工後

土山国有林（東広島市）

森林の保全管理

○森林ボランティアや自治体と連携し、森林巡視・山火事の防止・不法投棄への対応などの保全管理を実施。

山火事防止の普及啓発



神子原山国有林(福山市)

原生的な天然林等の保護

○保護林

2箇所を設定しており、モニタリング調査を定期的の実施しています。



鷹ノ巣山国有林(東広島市)

種類	名称	特徴等	面積(ha)
希少個体群保護林	野路山ヨコグラノキ・コバノチョウセンエノキ希少個体群保護林	流紋岩地に分布する植物学上貴重な樹種であるヨコグラノキ等の保護	5.69
	鷹ノ巣山ブナ・モミ希少個体群保護林	広島県中央部に飛び地的に生育しているブナ林等の保護	4.04



計画に基づく取組②

林産物の持続的かつ計画的な供給

林産物(木材)の供給

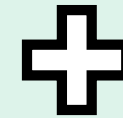
～ 地形を考慮した間伐、小径木の利用拡大 ～

- 本計画区で生産される木材は皆伐材と間伐材です。
- 路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進します。
- 小径木や未利用材（D材）は、木質バイオマスへの利用を拡大

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用



列状間伐の導入



低コスト化に向けた取り組み ～ 生産と造林の一貫作業システム ～

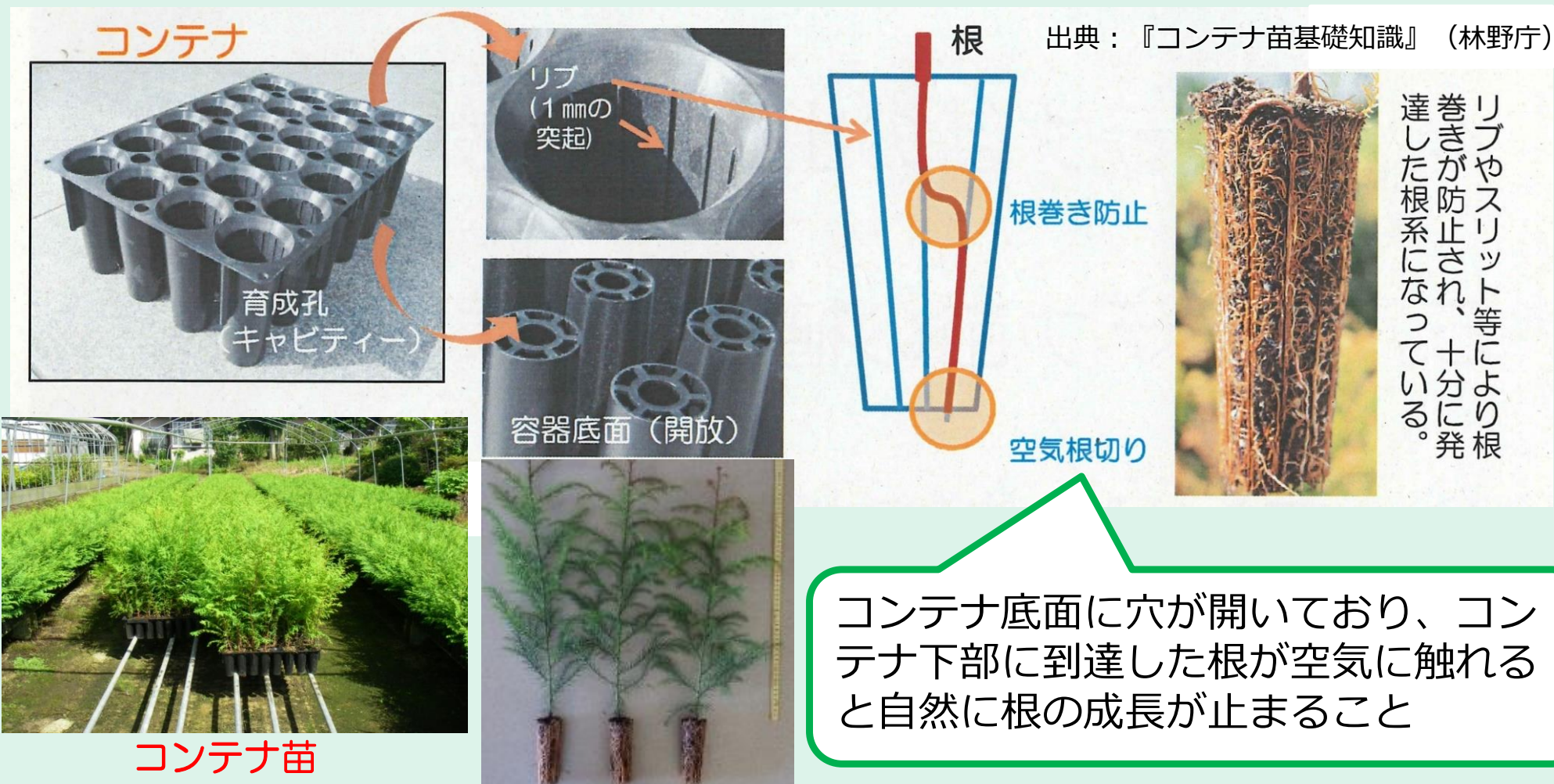
- ・皆伐地では、植付けの時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能（花粉の少ない苗木等の導入）
- ・木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減。



※一貫作業システム：伐採と植栽を一体的に行う作業

低コスト化に向けた取り組み ～ コンテナ苗 ～

- ・ 苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産
- ・ 根鉢がコンパクトで小さな植穴で、季節を選ばない効率的な植栽が可能



計画に基づく取組③
地域産業の振興及び
住民福祉の向上への寄与

国有林野の活用

～ 保健・文化・教育的利用のための取組 ～

○レクリエーションの森
1箇所101.95haを設定し、国民の
保健・文化・教育に活用。



用倉山国有林（三原市）



種 類	名 称	概 要	面積(ha)
野外スポーツ地域	用倉山野外スポーツ地域	ゴルフ場と一体となって利用	101.95

国民参加の森林づくり

○地域住民等による森林整備

森林ボランティア活動や森林環境教育のフィールドとして国有林を提供。



西ヶ谷山国有林（東広島市）

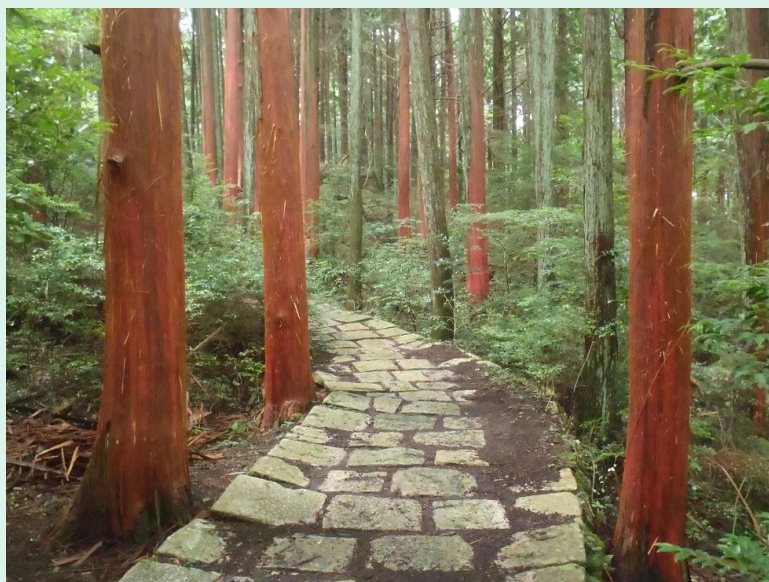


名 称	面積(ha)	備 考
健康・安全づくりの森（多様な活動の森）	0.91	西ヶ谷山国有林 （東広島市）

木の文化を支える森づくり

○^{ひわだ}檜皮採取対象林

国宝及び重要文化財に指定されている木造建造物の維持・修繕のための資材(檜皮)を持続的に供給する「^{ひわだ}檜皮採取対象林」を設定し、文化財修復用資材の供給等に努めています。



野路山国有林(呉市)



名 称	面 積(ha)	備 考
^{ひわだ} 檜皮採取対象林	46.25	野路山国有林(呉市) 彦山国有林(福山市) 八坂山国有林(三原市) 仏通寺山国有林(三原市)

次期計画の検討方向

国有林の管理経営の基本目標

- 1 公益的機能の維持増進
- 2 林産物の持続的かつ計画的な供給
- 3 地域産業の振興及び住民福祉の向上への寄与

上記の三つの基本目標の達成に向けて各事業・取組について、現行計画と同水準以上で計画していく考え。

「公益的機能の維持増進」に関して、次の取組について重点的に計画

○ 育成複層林施業の推進

- 水源涵養^{かん}タイプの人工林について「複層林施業群」の比率を高める（人工林の複層林）
- 人工林施業に適さない森林については、針広混交林や天然生林に誘導していく（天然林施業群）

○ 林地保全に配慮した森林施業の推進

- 山地災害リスクの高い森林の機能類型を、「山地災害防止タイプ」に変更

○ 「特に効率的な施業を推進する森林」の設定

- 持続的な林業生産活動に適した森林を「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

育成複層林施業の推進

森林・林業基本計画に掲げる森林の誘導目標に向け、近畿中国森林管理局においても、自然・社会的条件等を踏まえ、育成複層林への誘導を推進

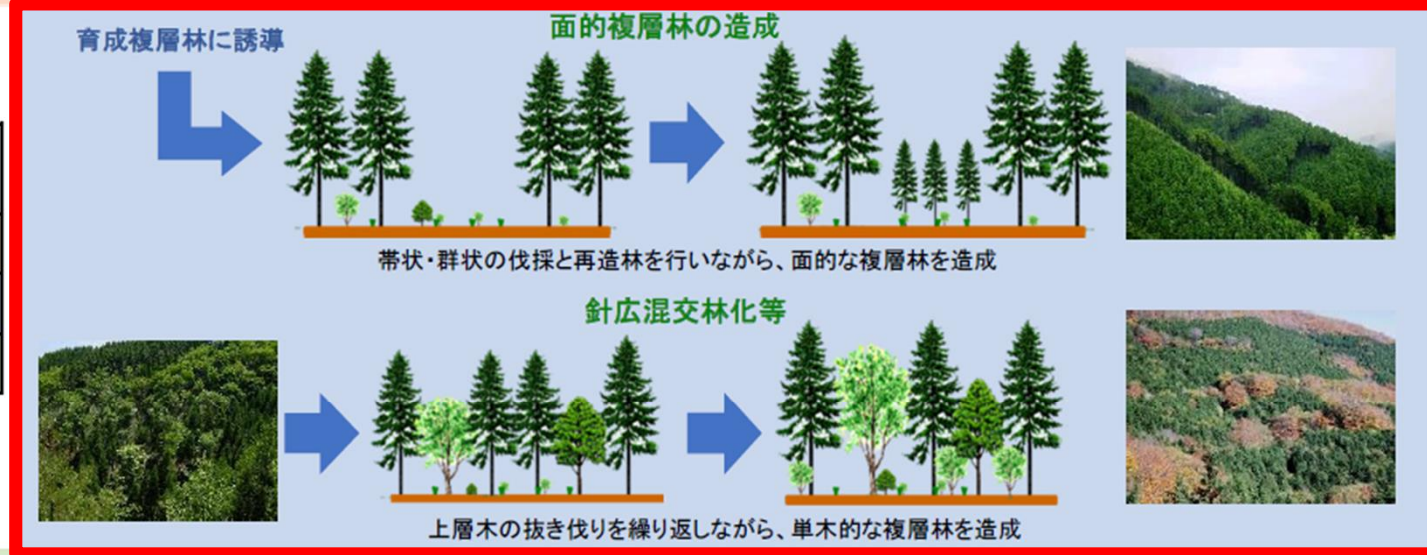


基本計画に掲げる森林の誘導目標

単位：万ha

	令和2年 (現況)	令和7年 (目標)	令和12年 (目標)
育成単層林	1,010	1,000	990
育成複層林	110	130	150
天然生林	1,380	1,370	1,360

育成複層林への誘導目標
5年間で20万ha(4万ha/年)



天然生林から
育成複層林に誘導

ナラ枯れ予防や放置され
た里山林の整備等



林地保全に配慮した森林施業の推進

森林は国土のおよそ7割を占め、地形は急峻で複雑かつ脆弱。また、近年全国各地で山地災害が激甚化しており、山腹崩壊、林道の損壊等広域にわたる大規模な山地災害が多発



国有林野では、従来から皆伐の伐採面積をおおむね5ha以下にするなど、公益的機能重視の管理経営を行ってきたが、今後、山地災害によるリスクを軽減するため、これまで以上にきめ細やかに林地保全に配慮した施業に取り組む。

・山地災害危険地区等との位置関係を確認し、機能類型の見直しを図る（山地災害防止タイプへの変更）。

・山地災害防止タイプのうち、急傾斜等に該当する小班をエリア指定し、林産物の搬出を原則として架線集材とする

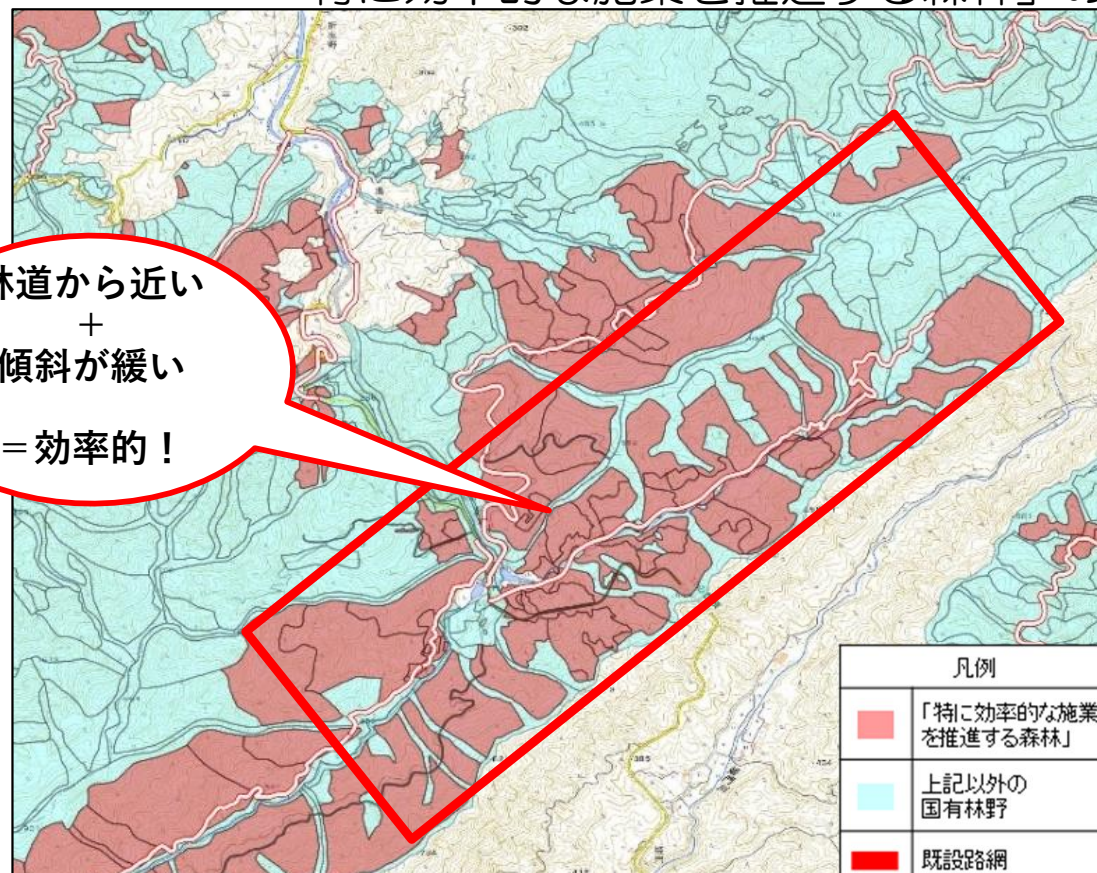


山地災害危険地区の3区分

「特に効率的な施業を推進する森林」

水源涵養^{かん}タイプに区分された人工林のうち、地位が比較的高く、急傾斜地以外の自然条件や林道等からの距離が近いなど社会的条件から持続的な林業生産活動に適したものを「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

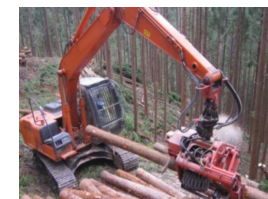
「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と取組内容



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及



事業発注を通じた林業事業者の育成



木材の安定供給に資する林道の機能強化



このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施



これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

【参考資料①】
国有林における計画制度

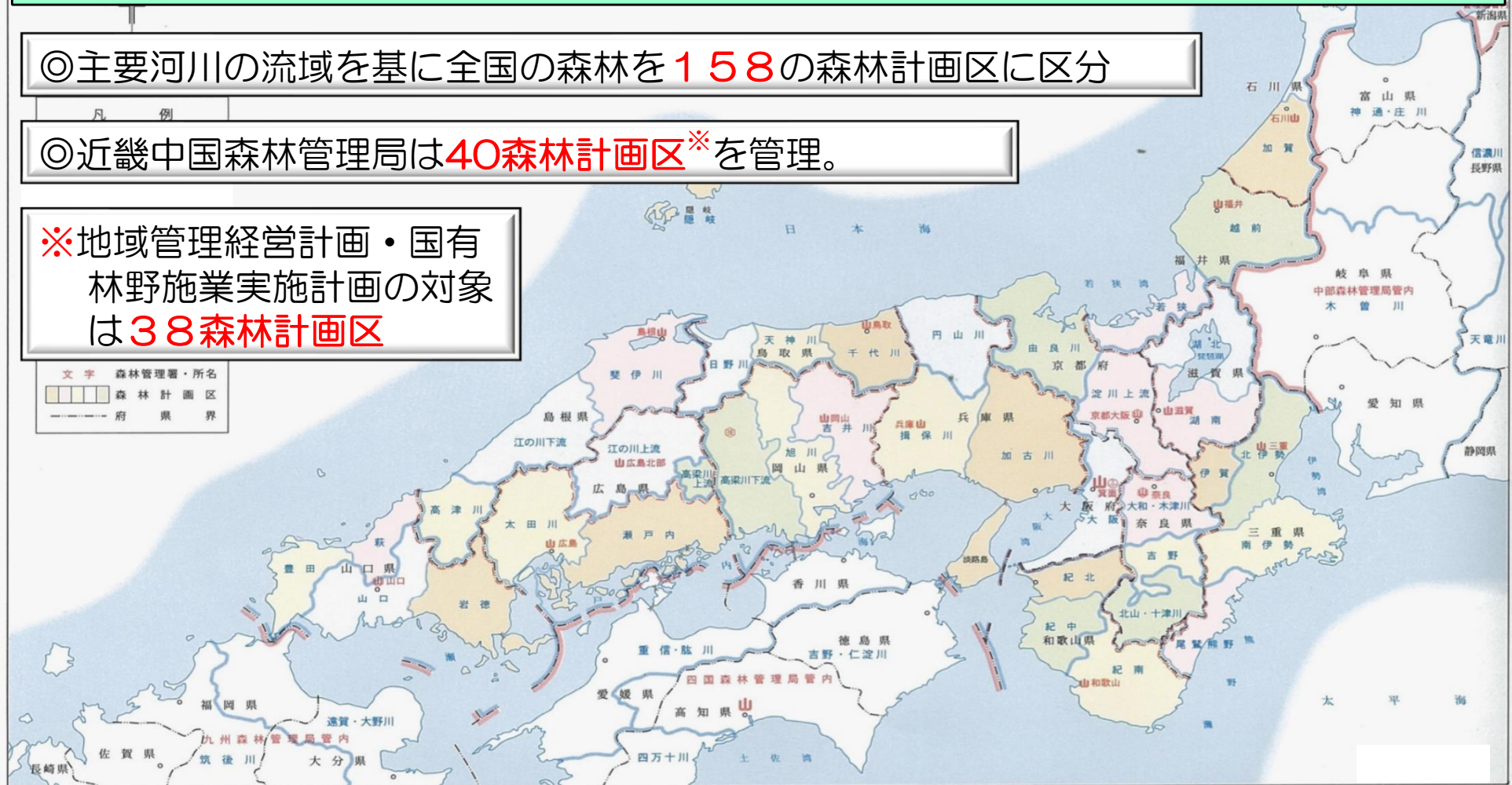
全国の森林は、地域の主要な河川の流域を基にして、158の森林計画区に区分されており、近畿中国森林管理局では、これらのうち北陸、近畿、中国地方で40の森林計画区を所管しています。

近畿中国森林管理局管内の森林計画区とは

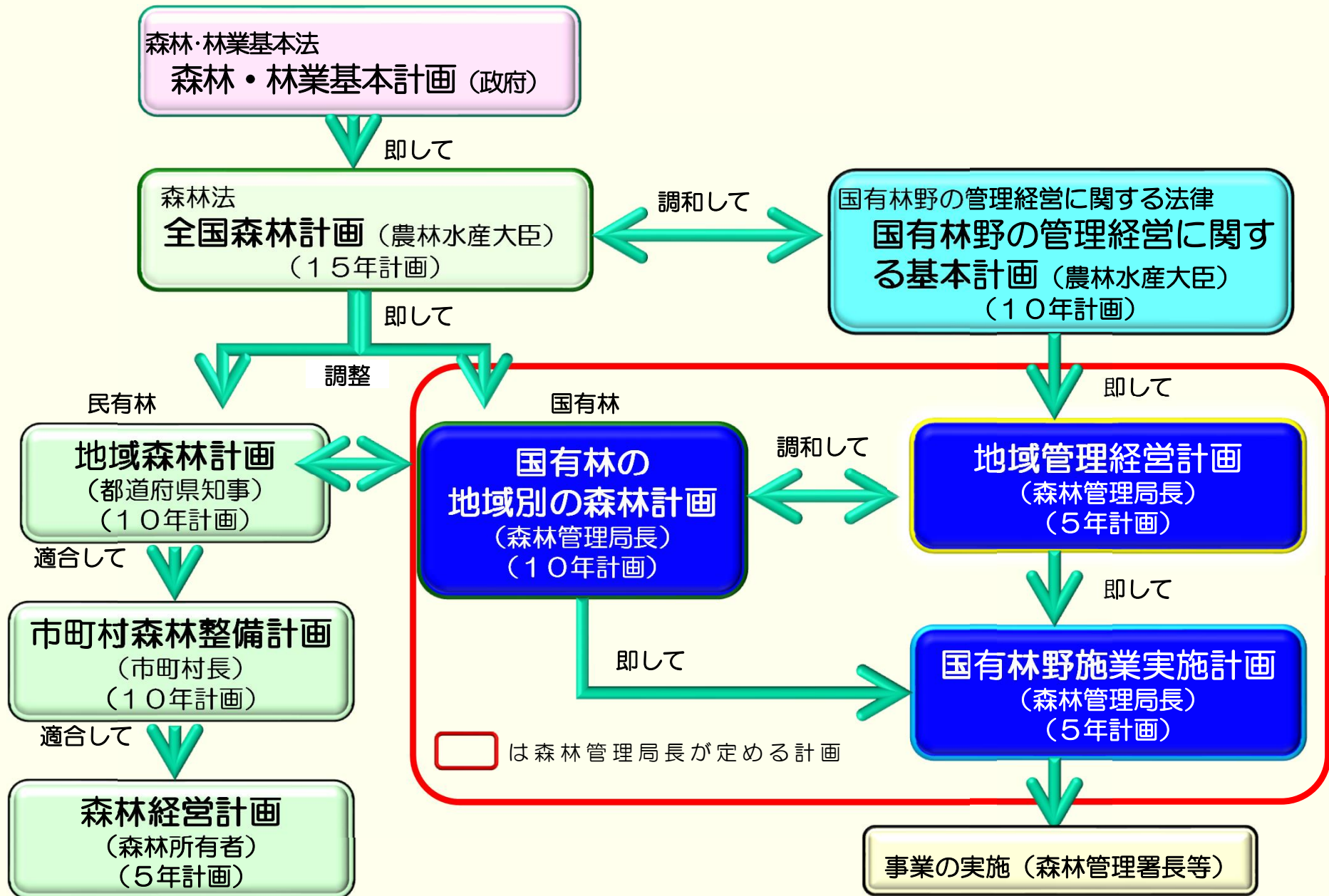
◎主要河川の流域を基に全国の森林を158の森林計画区に区分

◎近畿中国森林管理局は40森林計画区※を管理。

※地域管理経営計画・国有
林野施業実施計画の対象
は38森林計画区

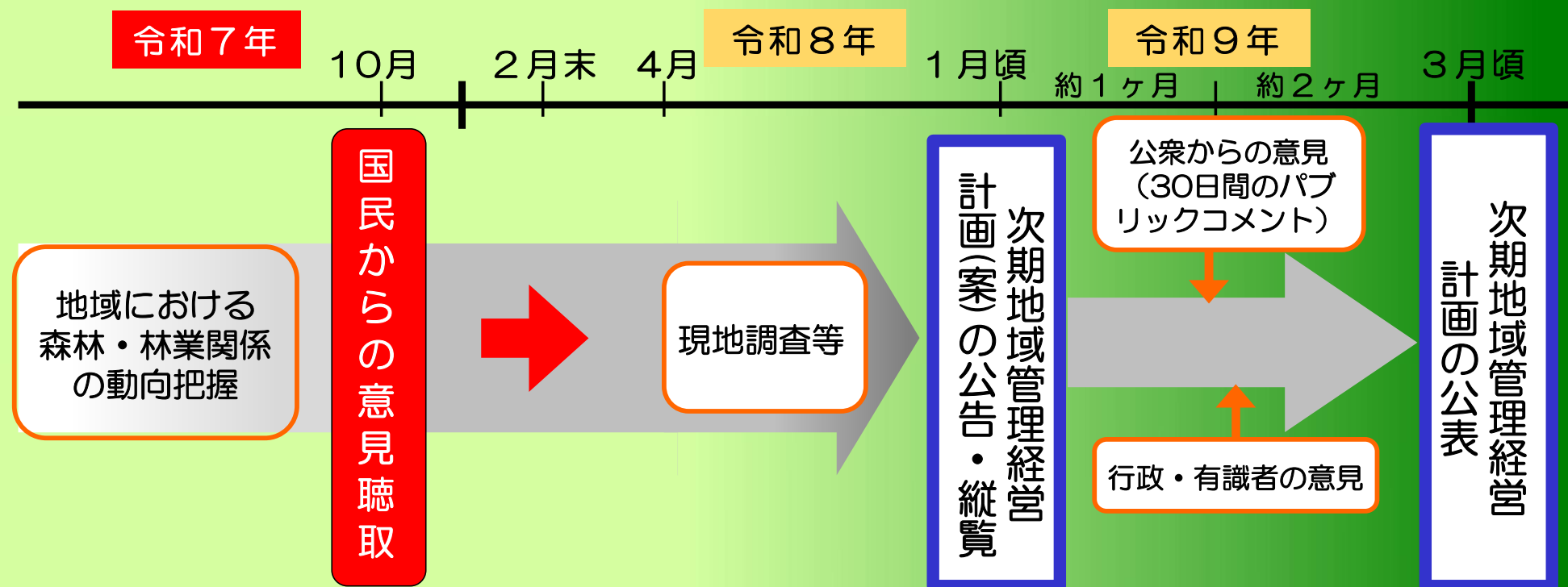


それぞれの森林計画区では5年ごとに森林計画が作成され、国有林では赤線で囲んだ国有林の地域別の森林計画、地域管理経営計画、国有林野施業実施計画の3つの計画を作成します。



地域管理経営計画の案を作成しようとする場合には、地域の皆様から幅広くご意見・ご要望をお伺いすることとしています。

●本計画区での計画策定スケジュール



目的

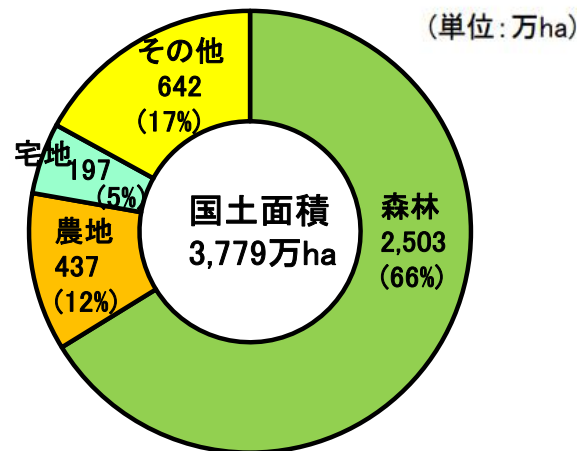
地域管理経営計画等の計画策定手続き前に地域の方々から計画検討の参考となる意見を幅広く収集

【参考資料②】 森林・林業の現状

我が国の森林と国有林

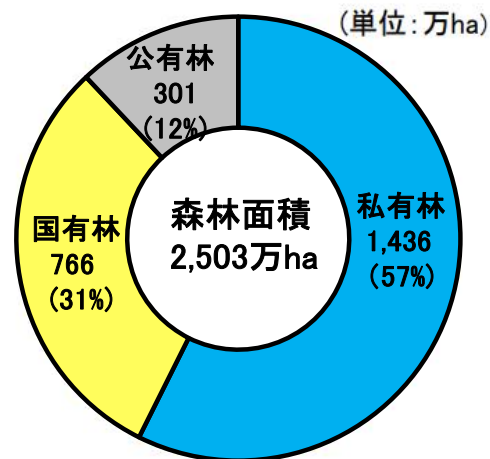
- 日本の森林面積は国土の約66%を占めています。
- 森林面積約2,500万haうち国有林は約766万ha（約31%）です。
- 近畿中国森林管理局所管の国有林は約31万haで、小規模に点在しています。

国土面積と森林面積の内訳



資料: 国土交通省「令和6年度版土地白書」
(国土面積は令和2年の数値)

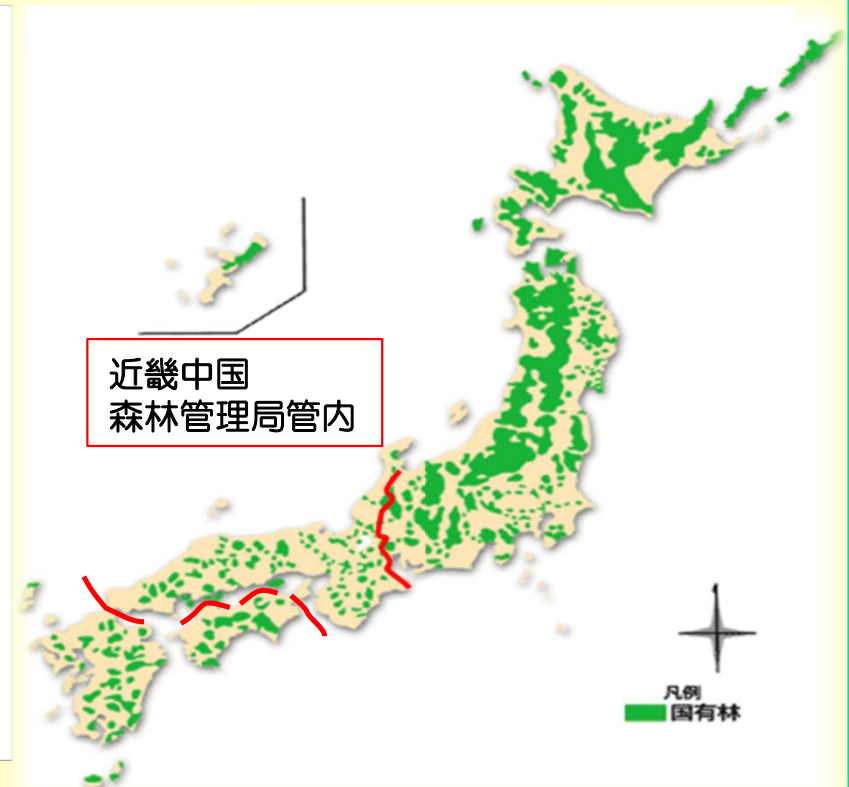
注: 林野庁「森林資源の現況」とは森林面積の調査手法及び時点が異なる。



資料: 林野庁「森林資源の現況」
(令和4年3月31日時点)

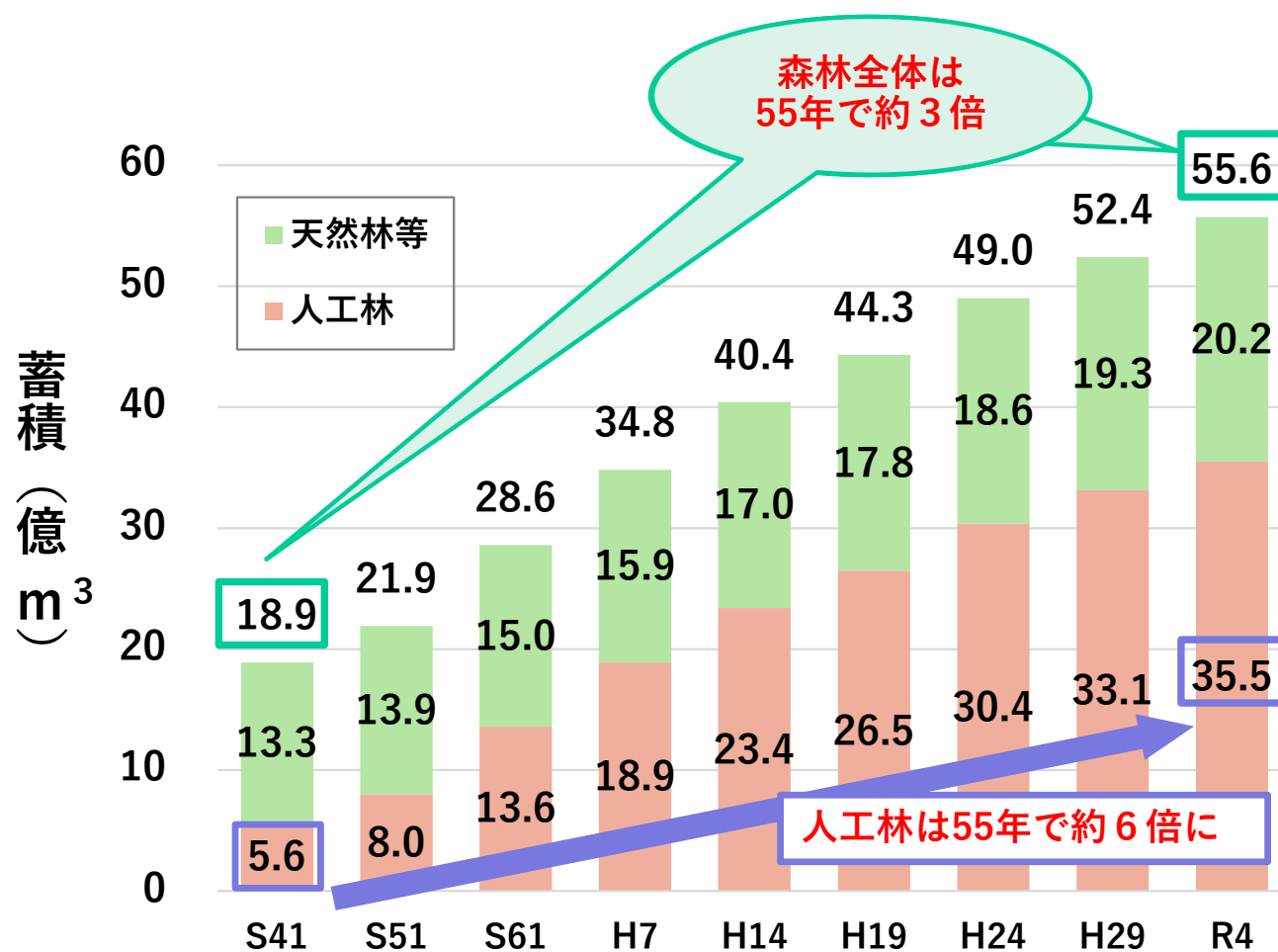
注1: 林野庁「森林資源の現況」とは森林面積の調査手法及び時点が異なる。

国有林野の分布状況



我が国の森林と国有林

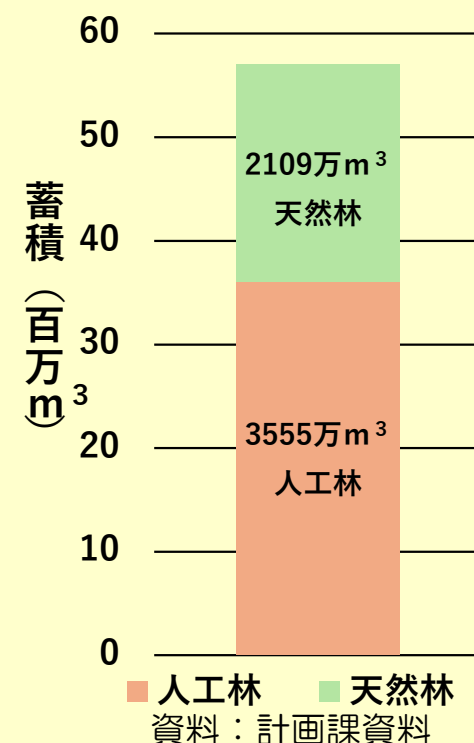
- 森林の蓄積は約56億 m^3 、蓄積は年間3～6千万 m^3 で増加傾向
- 55年かけて森林全体では3倍、人工林は約6倍の量に達します。



資料：林野庁「森林資源の現況」（令和4年3月31日現在）・林野庁業務資料

近畿中国森林管理局 所管国有林の森林蓄積

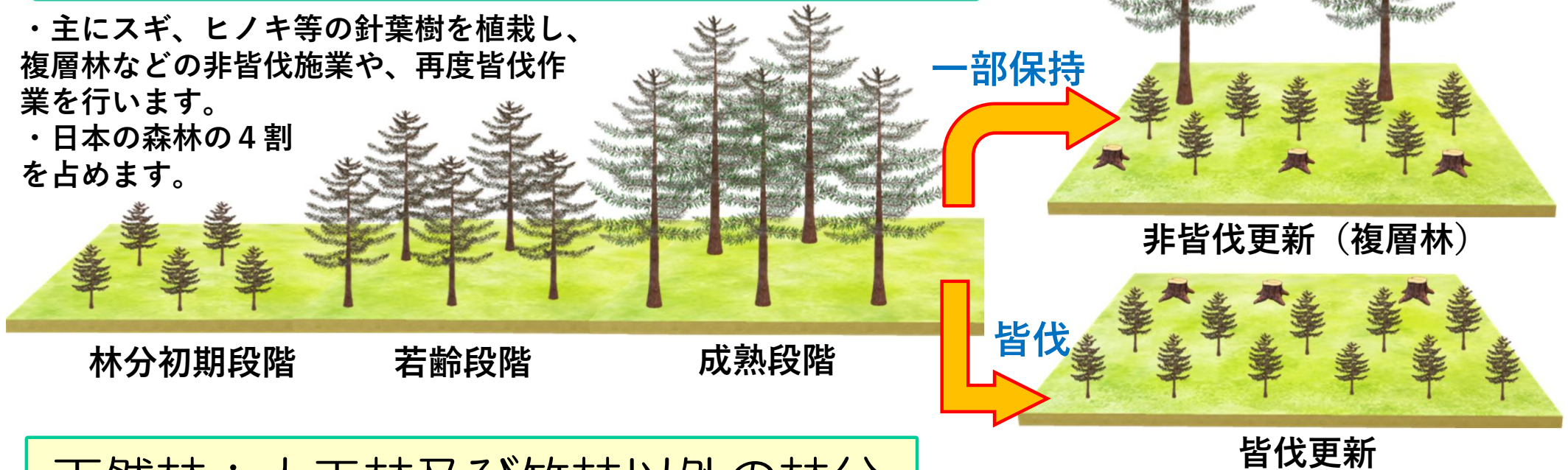
R6年：5664万 m^3



人工林と天然林

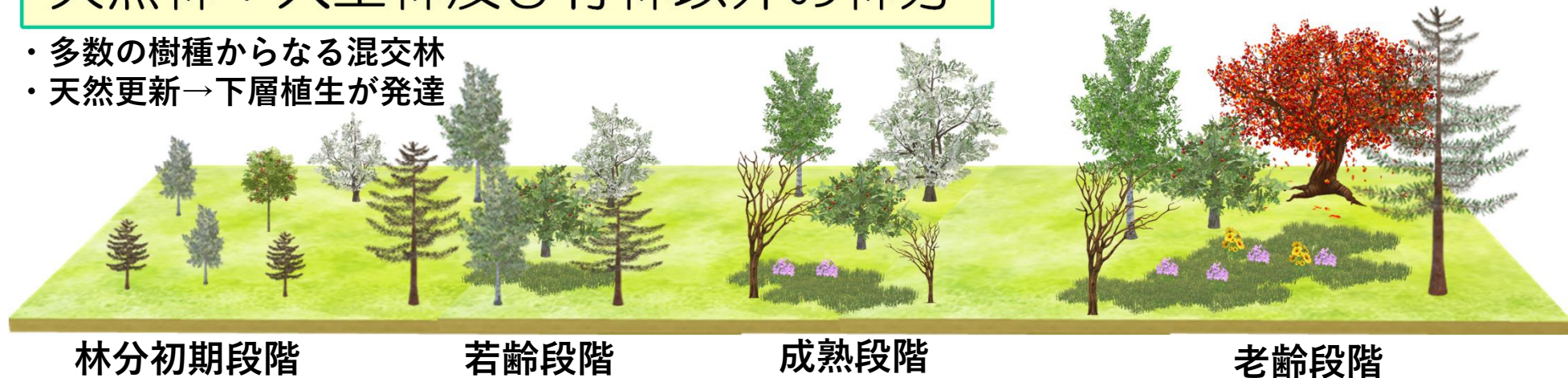
人工林：人工造林により造成した林分

- ・主にスギ、ヒノキ等の針葉樹を植栽し、複層林などの非皆伐施業や、再度皆伐作業を行います。
- ・日本の森林の4割を占めます。



天然林：人工林及び竹林以外の林分

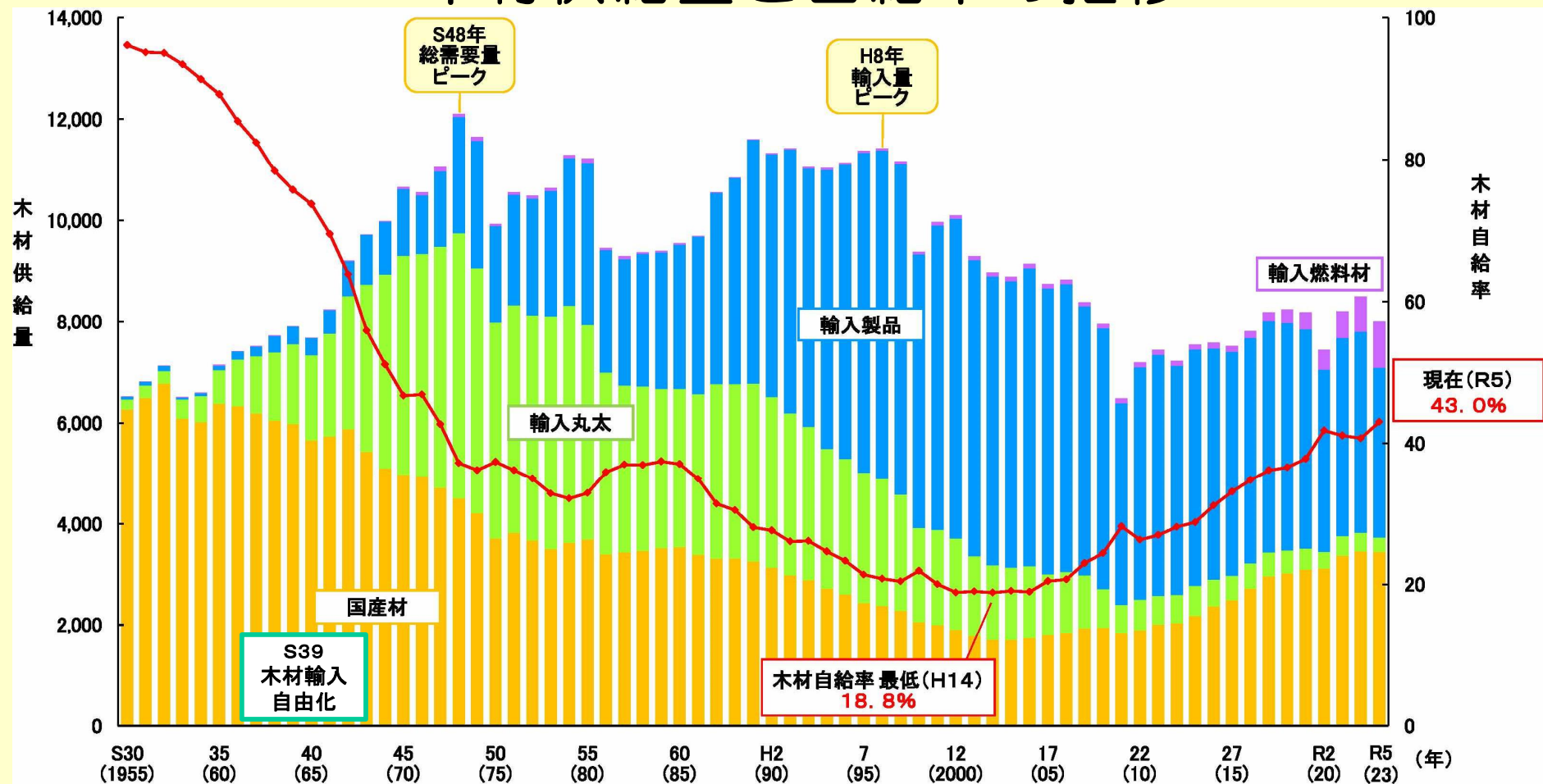
- ・多数の樹種からなる混交林
- ・天然更新→下層植生が発達



木材供給量と自給率

○国産材の供給量は、森林資源の充実や合板への利用増加等を背景に、近年は増加傾向から横ばいになり、木材自給率は43.0%に回復しています。

木材供給量と自給率の推移

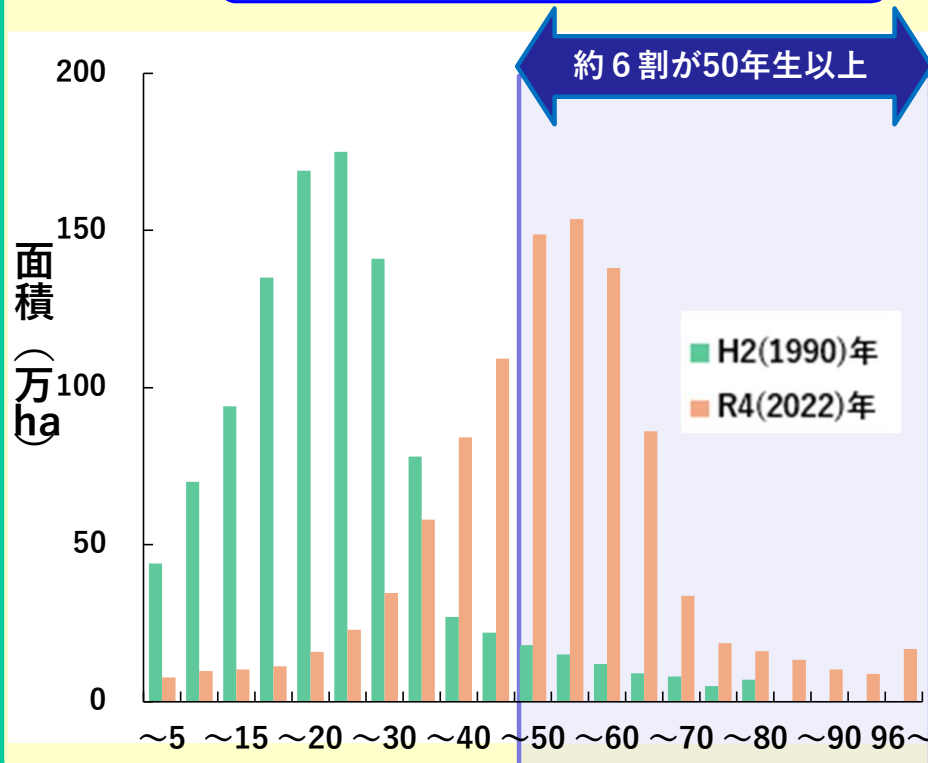


森林資源の循環利用

○森林の蓄積は年々増加するとともに、人工林の約6割が50年生以上となっており、木材としての本格的な利用期を迎えています。

○森林の有する多面的機能の発揮、林産物の安定供給を両立するため、伐って、使って、植えて、育てる「資源の循環利用」が必要です。

人工林の齢級別面積



森林資源の循環利用



森林・林業基本計画（令和3年6月閣議決定）

森林の有する多面的機能の発揮に関する目標

多様な森林がバランス良く賦存する「指向する森林の状態」に向け、望ましい森林の整備・保全が行われた場合に見込まれる5年後、10年後、20年後の状態を目標として設定

<森林の有する多面的機能の発揮に関する目標>

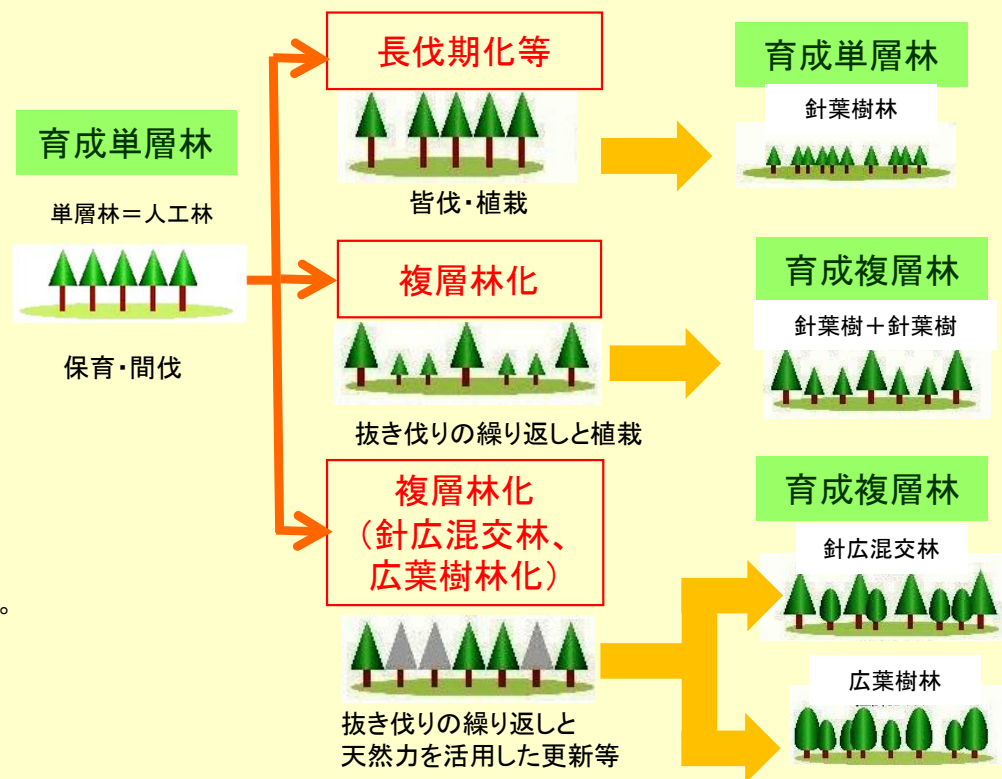
	R2年 (現況)	目標とする森林の状態			指向 状態 (参考)
		R7年	R12年	R22年	
森林面積(万ha)					
育成単層林	1,010	1,000	990	970	660
育成複層林	110	130	150	190	680
天然生林	1,380	1,370	1,360	1,340	1,170
合 計	2,510	2,510	2,510	2,510	2,510

注 1: 森林面積は、10万ha単位で四捨五入している。

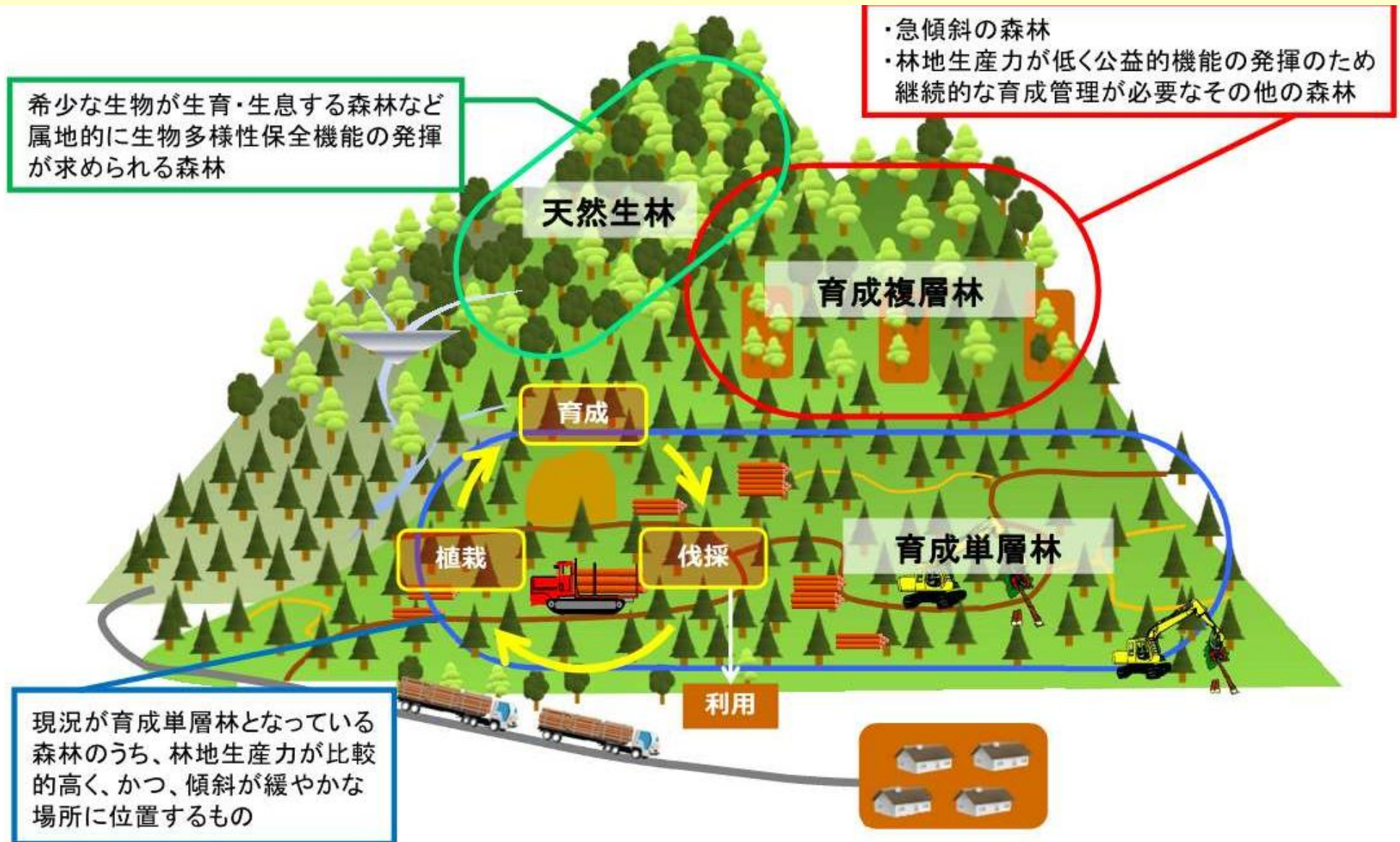
2: 目標とする森林の状態及び指向する森林の状態は、R2年を基準として算出している。

3: R2年の値は、R2年4月1日の数値である。

<多様な森林の整備>

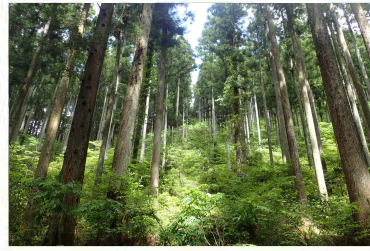


多様で健全な森林への誘導イメージ



育成単層林（人工林）における施業方法

育成単層林へ導くための施業



樹齢・樹冠層が単一の森林として
人為により成立させ維持する施業

育成複層林へ導くための施業



樹齢・樹冠層が複数の森林として
人為により成立させ維持する施業

天然生林へ導くための施業



自然散布の種子の発芽・生育等、
天然力により成立させ維持する施業

森林・林業基本計画（令和3年6月閣議決定）

林産物の供給及び利用に関する目標

望ましい森林の整備・保全が行われた場合の木材供給量、今後の需要動向を見通した上で、諸課題が解決された場合に実現可能な木材利用量を目標として設定

< 木材供給量の目標 >

（単位：百万m³）

	R元年 (実績)	R7年 (目標)	R12年 (目標)
木材供給量	31	40	42

< 用途別の利用量の目標 >

（単位：百万m³）

用途区分	利用量			総需要量		
	R元年 (実績)	R7年 (見通し)	R12年 (見通し)	R元年 (実績)	R7年 (見通し)	R12年 (見通し)
製材用材	13	17	19	28	29	30
合板用材	5	7	7	10	11	11
パルプ・チップ用材	5	5	5	32	30	29
燃料用材	7	8	9	10	15	16
その他	2	2	2	2	2	2
合計	31	40	42	82	87	87

注 1：用途別の利用量は、国産材に係るものである。

2：「燃料材」とは、ペレット、薪、炭、燃料用チップである。

3：「その他」とは、しいたけ原木、原木輸出等である。

4：百万m³単位で四捨五入しているため、計が一致しないものがある。



国民の森林・国有林の計画づくりに
地域の皆様の声をお聞かせください。